

花は咲く（オリジナル版変換）

本調子

→テ90

○まっ

工尺中王七 七八九工工 工 工 七八九七七工 尺 中 ○ 工 尺

しろな ゆ きみち に はるかぜかおる わたし は な

中王四 上 尺 中 中 ○ 四上中四四合合 ○ 工 尺 中 王 四 上

つかしい あのまちをおもいだす かなえ たい ゆめも

尺 中 中 ○ 四上中四四合合 合 合 ○ 四上 尺 尺 尺 尺 王 尺

あつた かわり たい じぶん もいた いまはただ なつか

中 工 上 中 尺 尺 尺 王 尺 中 中 工 工 尺 中 王 七 ○ 八 九

しい あのひとをおもいだす だ れかの うたが きこ

中 中 中 四上中四四合合 合 合 ○ 工 工 王 五 工 尺 工 ○ 四上

えるだ れかを はげま してる だ れかの えがお がみ

四上 工 工 王 五 工 尺 工 四 中 上 ○ 工 工 王 五 工 尺 工 ○ 四上

えるかなしみの むこう がわに は な は は な は は は さ

四上 工 王 工 王 五 工 尺 工 四 中 上 ○ 合 四 四 上 四上中王七六

く い っ かーうまれるき み に は な は は は な は

五 ○ 五 工 中王尺 中 上 四 乙 上 上 ○ 合 四 四 上 四上

はなはさく わ た しはなにをのこしただろう

中王七六五 ○ 五 工 中王尺 中 上 四 上 中 合 上 四 中 上 合 中 王

七六五尺 中 尺 中 上 四 四 合 合 ○ 合 四 上 中 工 合 四 四

は な は は な は さ く い っ かーうまれるき み に は

上 四上中王七六五 ○ 五 工 中王尺 中 上 四 乙 中 中 ○ 合

な は は は は は は さ く わ た しはなにをのこしただろう

四 四 上 四上中王七六五 ○ 五 工 中王尺 中 上 四 上 中 合 上 四

花は咲く（オリジナル版変換）

本調子

合	は
四	な
四	は
上	は
四	な
上	は
中	な
王	は
七	な
六	は
五	な
〇	は
五	は
工	は
中	な
王	は
尺	な
中	は
上	な
四	は
乙	な
中	は

中	に
〇	は
合	な
四	は
四	な
上	は
四	な
上	は
四	な
上	は
中	な
王	は
七	な
六	は
五	な
〇	は
五	は
工	は
中	な
王	は
尺	な
中	は
上	な
四	は

上	き
中	の
合	た
上	め
四	に

一、 作曲 菅野 よう子

作詞 岩井 俊二

工工四変換 檜山 憲夫

二、

真つ白な 雪道に 春風香る
わたしは なつかしい
あの街を 思い出す

夜空の 向こうの 朝の気配に
わたしは なつかしい
あの日々を 思い出す

叶えたい 夢もあつた
変わりたい 自分もいた
今はただ なつかしい
あの人を 思い出す

傷ついて 傷つけて
報われず 泣いたりして
今はただ 愛おしい
あの人を 思い出す

誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に

誰かの想いが見える
誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう